

## もくじ

本書の使い方	……P. 3
第1問 「幼児期の記憶は幻想だ」	……P. 4
第2問 「プラスチックゴミによる海洋汚染」	……P. 8
第3問 「グローバル化の意味するもの」	……P.13
第4問 「本を読む喜びとは何か」	……P.18
第5問 「バイオ燃料の課題」	……P.23
第6問 「太陽光発電の発展」	……P.28
第7問 「化石燃料からの脱却の難しさ」	……P.33
第8問 「性差別を無くす方向への言語の変化」	……P.38
第9問 「イヌは人間の感情を理解できる」	……P.42
第10問 「言論の自由はヘイトスピーチに及ぶか」	……P.47
第11問 「じゃんけんの時にはたらく心理」	……P.52
第12問 「食品の過剰宣伝と消費者の心理」	……P.57
第13問 「赤ん坊は作り笑いを見破る」	……P.62
第14問 「食物アレルギーに関する諸説」	……P.67
第15問 「英語の中で起こっている変化」	……P.72
第16問 「医療におけるコミュニケーションの必要性」	……P.77
第17問 「子どもの言語発達と家庭環境」	……P.83
第18問 「音声認識技術の可能性と問題点」	……P.88
第19問 「音楽の効用」	……P.93
第20問 「中型の動物が最速である理由」	……P.98
第21問 「火星移住の可能性」	……P.103
第22問 「怒りのメカニズムと効用」	……P.108

## はじめに

昨今の大学入試改革の影響もあり、【英語】という科目において「長文読解」の比重がより一層高くなっているのが今の大学入試の現状です。本書はそんな大学入試に挑む受験生の皆さんの力になるべく、特に以下4点に重点を置いて作成しました。

### ① 厳選された最新の良問を通じて、読解力の向上を実現する

本書に掲載されているすべての問題は、予備校講師として数多くの授業と模試作成に携わった経験をもとに、「最新の入試問題から厳選した良問」です。質の高い問題を教材に用いることで、「正しく内容を理解する力(=読解力)」を効率的かつ確実に鍛えることができます。

### ② 今まさに必要な語彙をフォローし、強化できる

解説編の【設問別解説】や【語句】、巻末の【語句一覧】などを通じて、今のタイミングで、「どの単語・語句を覚えておかなければならないのかを明確化し」、不足しているものがあればフォローできるようにしました。

加えて、〈Vocabulary Building Exercise〉や〈Summary〉といった設問解答とは別角度からの語彙力強化のための問題を用意することで、見て覚えるだけでなく「問題に答える形」でも語彙知識をより確実にすることができるようになっていきます。

### ③ 幅広いテーマの文章を通じて、多様な知識を広く身につける

本書は〈社会問題〉・〈新技術と現代生活との関係〉・〈心理学〉・〈性科学〉・〈健康科学〉といった今の大学入試で頻出のテーマをできる限り多く取り扱っていますので、一通りの学習を終えれば「様々なテーマについての基礎知識を広く身につける」ことができ、読解力をより一層強固なものにできます。

### ④ 問題英文の音声聴くことで、より深く【英語】を理解できる

本書の問題英文はすべて音声として聴くことができます(詳細は次ページ参照)。しっかりと読んだ英文の音声で聴くことで「語句のまとまりや文意の流れ」をとらえることができるようになります。リスニング力の強化に役立つことは言うまでもなく、英文読解力・英作文力の向上のために音声を聴くことを習慣づけてください。

本書の問題英文は、パソコンやスマートフォンから下記のURLにアクセスして聴く（ストリーミング）ことができます。

<http://www.kawai-publishing.jp/onsei/01/index.html>

また、以下のQRコードからもアクセスできます。



※ファイル形式はMP4形式になります。再生する際は、最新版のOSをご利用ください。

また、パソコンから下記URLにアクセスしていただくことで、音声データのダウンロードも可能です。

※ホームページより直接スマートフォンへのダウンロードはできません。一度パソコンにダウンロードしていただいた上で、スマートフォンへお取り込みください。

<http://www.kawai-publishing.jp/onsei/01/index.html>

※ファイルはZIP形式で圧縮されていますので、解凍ソフトが別途必要です。

※ファイルの形式はMP3形式になります。再生するには、Windows Media PlayerやiTunesなどの再生ソフトが必要です。

#### 音声データに関する注意

掲載されている音声ファイルのデータは著作権法で保護されています。本データあるいはそれを加工したものを複製・譲渡・配信・販売することはできません。また、データを使用できるのは、本書の購入者がリスニングの学習を目的とする場合に限られます。

お客様のパソコンやネット環境により音声を再生できない場合、当社は責任を負いかねます。ご理解とご了承をいただきますよう、お願いいたします。

本書は問題英文の総語数が「400～500語程度」の英文をまとめた問題集です。本書以外にも「500～600語程度」を用意していますが、英文の長さを除いて難度には大きな差はありません。どちらも最高の問題をそろえています。徹底的に使いこなすことによって読解力と語彙力の両方を確実に鍛えることができます。

皆さんの夢の実現に本書が大きな力になることを切に願っています。

著者一同

## 本書の使い方

### 読解問題について

各問題ですべての設問を解き終えたら、まずは【解答】を見て答え合わせ・採点をしてください。記述問題については【配点と採点基準】を参照して、どの要素は含まれていて、どの要素が足りていないのか、と“自分の解答を客観視”してみてください。この客観視は入試本番で自身の解答を見返す際に必ず役立ちます。

【設問別解説】は冗長になりすぎないように、要点のみに絞っています。長く予備校講師として指導してきた経験に基づく解説なので、熟読しておくように。

また、“1文1文の意味を確認する”ことも重要です。本書の問題はすべて実際に出題された入試問題なので、皆さんが受験する入試本番と同等の英文です。このレベルの英文を正確に理解する経験を数多く積みましょう。英文の意味を理解できない箇所は、【全訳】や【語句】を参照してください。

### 〈Vocabulary Building Exercise〉について

左側の英文を見て答え合わせをした後は、まず【 】内の英語がどういう日本語訳になるのかを確認してください。【 】内は英英辞書をイメージした言い回しになっているので、皆さんが単語帳などで学んだ単語の“ニュアンスまで含み込んだ意味”を知ることができます。ニュアンスまで把握した後は、左側の英文を見て“正解の単語が実際にどういう文脈で使われるのか”を改めて確認してください。実際の英文を読む際には単語帳の訳語をあてはめるだけでなく、文脈に応じた理解が必要になります。たんに単語帳の訳を覚えるだけでなく、単語の実際の使われ方に慣れておくことが重要なのです。

各例文の日本語訳は付属の“赤シートで隠して和訳の練習”をすることができますようになっていますので、語彙力強化に役立ててください。

## 〈Summary〉について

答え合わせをした後は、要約文全体と【〈Summary〉の訳】を見て、「**どう要約されているのか**」を確認してみてください。要約文とは文章全体の内容を過不足なく簡潔にまとめ直したものです。自分の内容理解と比較することで、自分は正確に読解できていたか、内容的に過不足していなかったかなどを確認することができます。

## 巻末の【語句一覧】について

本書掲載の問題英文に出てくる単語や語句は、この機会に確実に身につけておくべき重要なものばかりです。そのため、付属の「赤シートで意味を隠すことができる」ようにしました。そのため一通り学習を終えた後には、「**実践的な単語帳**」として本書を使うこともできます。

単語・語句は各回かつパラグラフ順に並べており、各問題英文の内容やテーマに即した訳をそのまま掲載しています。改めて見た時になぜそういう訳になるのかと疑問に思った場合には、該当回の解説を参照してください。

## 本書内の各種記号について（解説編）

- ・（ ）は省略可能な語句を、[ ]はその前後で言い換えが可能であることを表す。
- ・Sは主語、Oは目的語、Cは補語を指し、AやBは名詞を指します。
- ・doは動詞の原形、to doは不定詞、doingは動名詞あるいは現在分詞、doneは過去分詞、one'sは所有格、A'sは主語と異なる所有格、oneselfは所有代名詞、をそれぞれ表している。なお、実際には文脈に応じた単語が入る。



## 〈 Vocabulary Building Exercise 〉

- |  |   |
|--|---|
| <p>1. The desire to study <b>literature</b> begins with a love of reading.<br/>[pieces of writing that are valued as works of art]</p> <p>2. It is difficult to predict the final <b>outcome</b>.<br/>[the result or effect of an action or event]</p> <p>3. His actions were based on a false <b>assumption</b>.<br/>[a belief or feeling that something is true or that something will happen, although there is no proof]</p> <p>4. The building had <b>previously</b> been used as a hotel.<br/>[at a time before the time that you are talking about]</p> <p>5. The doctors did not <b>reveal</b> the truth to him.<br/>[make something known to somebody]</p> <p>6. Nothing can <b>alter</b> the fact that we are to blame.<br/>[make somebody or something different]</p> | <p>1. 「文学を学びたいという欲求は、読書を好きになることから始まる」<br/>【芸術作品として評価される文書】</p> <p>2. 「最終的な結果を予測することは困難だ」<br/>【ある行動や出来事の結果あるいは効果】</p> <p>3. 「彼の行動は、間違っている仮定に基づいていた」<br/>【証拠はないものの、何かが真実であるとか何かが起こるだろうという確信や意識】</p> <p>4. 「その建物は、以前はホテルとして使われていた」<br/>【今話しているときよりも前の時間に】</p> <p>5. 「その医者は、彼に真実を明らかにしなかった」<br/>【人に何かを知らせる】</p> <p>6. 「何事も、私たちが責任を負うべきだという事実を変えることはできない」<br/>【誰か、あるいは何かを別のものに変える】</p> |
|--|---|

9. Computers will never **replace** teachers in the classroom.  
 [be used instead of something / somebody else]
10. What do you think has brought about the **current** situation?  
 [happening now; of the present time]
9. 「コンピュータが教室で教師に取って代わることは決していないだろう」  
 [何か、あるいは誰かの代わりに使われる]
10. 「現在の状況は、何が引き起こしたのだと思いますか」  
 [現在起きている／現時点の]

### 〈 Summary 〉

Biofuels offer plant-based solutions to the Earth's growing energy problems, and they have existed for as long as cars have. Until the discoveries of huge **underground** oil deposits that kept the price of gasoline and diesel low for decades, early car engines were expected to run on ethanol or peanut oil. Fossil fuels like gasoline and diesel are made from **decayed** plants and animals that lived millions of years ago. Biofuels are made using chemical **reactions** to break down molecules in plants. Unlike oil reserves, they are a **renewable** resource. However, it is a point of **dispute** whether crops should be used for food and not fuel. One solution would be to produce biofuel from cellulose. (116 words)

#### 【〈Summary の訳〉】

バイオ燃料は、地球の増大するエネルギー問題に対して植物を利用する解決策を提供するもので、自動車と同じくらい昔から存在してきた。地下に巨大な石油蔵床が発見されると、ガソリンとディーゼル油の価格は何十年にもわたって低く抑えられるようになったが、それ以前の初期の自動車用エンジンはエタノールやピーナッツオイルで動かすことになっていた。ガソリンやディーゼル油などの化石燃料は、数百万年前に生息していた動植物が腐敗したものでできている。バイオ燃料は、化学反応を使い植物の分子を分解することで作られる。地下の油脈とは異なり、再生可能な資源である。しかしながら、作物を燃料ではなく食品に使うべきではないかということが議論的となっている。1つの解決策は、セルロースからバイオ燃料を生産することである。